

市長からのメッセージ  
【こちら市長執務室】



佐渡裕さんから激励のメッセージ

スーパーキッズオーケストラを指揮する佐渡さんは、昨年8月の豪雨災害で被災した子どもたちに「困難なことはたくさんあるけれど、目線を変え、乗り越える方法を考えよう。自分たちの力を発揮して」と激励を送りました。



今年の7月から8月にかけて、市内の小学生や中学生、高校生がスポーツ・学術・国際交流などで優れた成績を修め、近畿大会・全国大会・国際大会への出場を果たした報告をするため、市長室を訪ねてくれました。

まず中学校総体では、水泳や陸上、バスケットボールなどで近畿大会や全国大会に出場する市内4中学校の選手が健闘を誓ってくれました。

市内の中学3年生でつくる女子バレーボールチームも全国ヤングバレーボールクラブ男女優勝大会「テーマ」「夢をつかむ」丹波市の若者が市長室を訪問、

に出場が決まり、その意気込みを聞かせてくれました。

そして、夏の甲子園出場校、比叡山高校と滝川第二高校には丹波市出身の球児5名が名を連ね、私たちに夢を与えてくれました。来庁した4名の球児が甲子園の感動を熱く語る姿に、大変勇気づけられました。

また、今年度から新たに設けた制度で、市が定める団体が主催する全国大会に出場した児童・生徒に支給する「全国大会出場激励

金」の交付も行いました。柏原高校理科部・氷上高校ビジネスコンピュータ部、氷上西高校のライフル射撃部のみなさんに激励とともに活躍を期待しました。

小学生も負けてはいません。東京で開催されたB&G全国ジュニア水泳競技大会に出場し、見事全国2位の成績を収めた選手をはじめ10名が大会に参加し、期待に応えてくれました。

国際交流の面でも、アメリカのセント市・オーバン市の両市から7名の高校生たちが若き親善大使として市長室を訪問してくれました。

たし、山口市で開催されましたボーイスカウトの国際大会には、ボーイスカウト柏原第1団の高校生の隊員が日本代表として初参加することになり、その報告に訪ねてくれました。

私は、こんなにも多くの市内小中高生が全国大会などへの出場を果たし、それぞれ立派な活躍をして、報告に来てくれたことに感激いたしました。

一人ひとりのいきいきとした未来ある表情を見ながら「君たちは

青春真っただ中。ふるさと丹波市出身であることを誇りに力いっぱいがんばれ」と激励しました。

地方創生が叫ばれる今、丹波市出身の小中高生が全国を舞台にがんばってくれること、本心に丹波市にとっての大きな財産をつくってくれたようです。

市内の小中高生の活躍は、今年一年だけで成し遂げられるものではなく、丹波市が市民のみなさんとともに長年にわたりに行ってきた子育ての努力が花を咲かせてきたのではと思っています。こうして活躍する子どもたちのため「若者に魅力のあるまち」づくりになります。励まねばなりません。

今後も市民のみなさんにも引き続き応援いただきたいと考えております。



理事長 細見 みち子さん

File. 6  
クローズアップ！  
地域で輝くNPO  
NPO法人  
京都きもの塾和楽

地域でがんばるNPOを紹介する“地域で輝くNPO”。今回は、着付け教室を通して和装文化の普及振興活動を行っているNPO法人「京都きもの塾和楽」をクローズアップします。



早比美装きもの学院 佐藤宗家による「前結び」のデモンストレーション

人生の節目には、和服を着ましよう！  
「京都きもの塾和楽」は和装文化の伝承と貢献を目的として、平成20年にNPO法人の認可を受けました。

人生の節目に日本の文化の象徴である和服を着ることで、日本人としての自覚や誇りを感じ、子や孫に日本の和服の素晴らしさを伝えていくことができます。

そこで、ひとりで楽に着られるようになる「前結び」を一人でも多くの方に知っていただきたい、との思いから毎週水曜日にゆめタウンの「きものほそみ」において「着かた倶楽部」を無料（入会金は必要）で開講して



時間を忘れるほどの真剣なお稽古

います。受講生は3カ月で着物を着て帯が結べるようになります。

いつもと違う自分を楽しめよう！

和服を着ることで、気持ちの持ち方、所作など、普段とは違った自分を演出できます。

「着かた倶楽部」は、華麗で清楚な魅力を持つ着物の素晴らしさをひとりでも多くの方に分かってもらいたい、感じてもらいたい、とはじめた講習会です。受講生は年齢層もきつかけもさまざま。少人数で和気あいあいとお互いに教え合いながら交流

NPO 法人プロフィール

特定非営利活動法人 京都きもの塾和楽  
◆所在地 / 丹波市春日町黒井 1899-1  
◆設立年月 / 平成 20 年 8 月  
◆ホームページ / <http://kikata-club.hosomi-gofuku.co.jp/>  
◆電話 / 0795 - 82 - 7000

を深めています。

また、「和の会」として年4回、京都や篠山、天橋立の着物祭りなどへ着物で出かけるイベントも行っています。「和の会」は、一人でもグループでも参加できます。

今後も「着かた倶楽部」を通して一人を着られる喜びを感じ、「和の会」で和服の魅力を味わえる活動をしていきます。